

女神たち(ミューズ)が奏でる至福の時間。

アンサンブル・ミューズ ファースト・コンサート

ゲスト：遠藤剛史（フルート）



2016年6月3日(金)

Melody Line (ザ・プリンスパークタワー東京内)

Open 18:30 // Start 19:30

Charge: ¥4,500円 (Drink Free)

Program (予定)

バッハ 主よ人の望みの喜びを
チャイコフスキー 花のワルツ
ブラジル風バッハ組曲より第1,5番

ヤコブ・ゲーゼ「タンゴ ジェラシー」
映画音楽 シェルプールの雨傘
エディット・ピアフ「愛の讃歌」
ビートルズ「Yesterday」
イパネマの娘 他

[チケットのご予約・お問い合わせ]

(株)フロレスタン 03-6457-4695 info@florestan.co.jp

Melody Line 03-5400-1153 (直通) <http://www.princehotels.co.jp/>

Florestan

Profile

アンサンブル・ミューズ (弦楽アンサンブル)

今注目の若手弦楽器奏者、佐藤奏 (ヴァイオリン)、門野由奈 (ヴァイオリン)、松岡あずさ (ヴィオラ)、丹羽あいり (チェロ) の4人で構成させた弦楽アンサンブル。

レコーディング、コンサート、パーティー・イベント等で活躍中。

佐藤 奏 (Kana Sato (ヴァイオリン))

4歳より鈴木メソッドにてバイオリンを始める。都立芸術高等学校(現・都立総合芸術高等学校)を経て、桐朋学園大学卒業。同大学研究科、オーケストラ・アカデミー修了。日本クラシック音楽コンクール、日本演奏家コンクールにて上位入賞。草津国際音楽アカデミーに室内楽奨学生として参加。名古屋・宗次ホール弦楽四重奏コンクールにて第1位聴衆賞受賞。リゾナーレ音楽セミナーにて弦楽四重奏グループとして奨励賞受賞、同音楽祭に出演。

現在はテアトロ・ジューリオ・ショウワ在籍。これまでに川名祥哉、友田啓明、久保良治に師事。

門野由奈 Yuuna Kadono (ヴァイオリン)

高校卒業後にハンガリーに渡り、バルトーク弦楽四重奏団第2ヴァイオリン奏者 Hargitai Geza 氏の元、リスト音楽院にて学士及び修士号取得。在学中、リフト音楽院オーケストラのメンバーとして日本・ハンガリー国交140周年を記念したアジアツアーに参加。第20回バルレッタ国際音楽コンクール第1位。2010年に帰国後、オーケストラや室内楽などの演奏会に多数参加。2011年～2014年までテアトロ・ジューリオ・ショウワオーケストラに在籍。現在は昭和音楽大学の合奏研究員、洗足学園大学ニューフィルハーモニック管弦楽団団員を努めるほか、Quartet Sisley、東京室内管弦楽団メンバー。

松岡あずさ Azusa Matsuoka (ヴィオラ)

栃木県出身。4歳よりヴァイオリン、20歳よりヴィオラを始める。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科を経て、洗足学園音楽大学を卒業。今までにヴァイオリンを仁多理恵、石丸夕起、星野和夫、渡辺朋子、素村裕子、石井志都子の各氏に師事。ヴィオラを井野邊大輔、岡田伸夫の両氏に師事。室内楽を須田祥子、安永徹、市野あゆみ、物集女純子の各氏に師事。

洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団団員、テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ研究生、足利カンマーオーケスター登録アーティスト。

オーケストラを中心に室内楽や後進の指導等、活動している。

丹羽あいり Airi Niwa (チェロ)

2009年桐朋学園大学音楽学部卒業。2011年同大学研究科・2014年桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。チェロを井上頼豊、津田朝子、松波恵子の各氏に師事。第12回札幌ジュニアチェロコンクールにて優秀賞を受賞。これまでに長野国際音楽祭、霧島国際音楽祭、アルゲリッチ音楽祭、2013PMF アカデミーなど多数の音楽祭に参加。また、ラ・フォル・ジュルネ、軽井沢八月祭フェローシッププログラム、サントリーホールガラコンサート～響～などに出演。2014年日本演奏連盟オーケストラ・シリーズにて日本センチュリー交響楽団と共演。第3期サントリー室内楽アカデミーフェロー。現在、ソロ、室内楽、オーケストラと多岐に渡り活動中。

【ゲスト】

遠藤剛史 Takashi Endo (フルート)

桐朋学園大学卒業。同研究科終了後、欧米各地で演奏旅行を行う。

日本フィルハーモニー交響楽団入団、メルボルン交響楽団との交換楽員として3ヶ月演奏。

日本の作曲家シリーズ、日本の芸術家シリーズ、作曲家の個展、現代の音楽展、サウンド・スプラッシュ(池辺晋一郎企画)、ミュージック・トゥデイ(武満徹企画)、日本作曲家協議会等、国内外の新作を多数演奏。

また、演奏家グループ「プレイヤード」を組織し、東京芸術祭を始め、数々の演奏会、リサイタルを行った。平成9年度文化庁芸術祭音楽部門大賞受賞。

ヴィラ＝ロボス生誕100年記念では、理事として連続演奏会を企画、出演。

ベル・エポックの名器を使い、その時代の曲を集めた、フルートをピアノによる「見えない笛」を98年2月よりリリース。4月から99年5月にかけて「日本におけるフランス年」のフランス大使館の正式な後援を得て、全国で演奏会を重ねる。また、全音楽譜出版社より「フルートによる愛の歌曲集」を出版(遠藤剛史 編曲)。

99年、「バッハと日本人」というテーマで、J.S.バッハの作品4曲と邦人委嘱曲9曲(全曲世界初演)というプログラムで、連続演奏会をおこない、平成11年度文化庁芸術祭音楽部門優秀賞を受賞。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団、及び日本のオーケストラの選抜メンバーである、ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラにて活動を続けている。